組合だより

2011. 1. 5 発行　第 116 号

札幌鉄工関連協同組合
・IP－phone　050-3462-4993
・TEL 661-2648　・FAX 665-1408
http//www6.ocn.ne.jp/~s-tekkou/
E-mail : kanren00@poem.ocn.ne.jp

～　年頭にあたって　～

理事長　中 村 光 雄

組合員の皆様　新年明けましておめでとうございます。

健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

私、平成１７年８月に理事長を仰せ付かってから６度目の新年を迎えました。

概ね５年半のこの期間、アッという間に過ぎ去ったような感じがしておりますが、振り返りますといろいろな事がありました。

就任後、２度の組合役員の改選があり専務を含め一部理事、監事の入れ替え、また、委員会委員の新旧交代もありました。平成２１年には、初めての組合役員、委員会委員合同懇談会を開催して組合活動に対する貴重な意見、提言をいただきました。

また、すでに終了していますが、国費関連事業として平成１８年度から中小企業人材確保推進事業、１９年度から「たんぽぽ計画」事業、それぞれ３ヵ年事業を担当された委員長を中心に、組合及び組合員にとって極めて有意義な事業の推進に取り組んでいただきました。

昨年は永年続けてきている共同受電事業に係る事務の取扱いについて、組合にとっての問題点等を整理し、その改善に向けて札幌鉄工団地協同組合と会談等を行ったほか、共同警備事業についても今後の適正な運営のあり方などについて団地組合と協議を行う一方、組合員の意向調査などを行ない検討を進めてきたところであります。

さて、就任後の組合員企業の状況をみますと、この間残念ながら倒産された２企業や事業所移転などを含めた脱退が１０企業、新規加入が８企業で現在８５企業が組合員であり、この数は平成１７年度末と同数であります。

一方、国内外の社会経済情勢は正に激動の時代と言うにふさわしい様相を見せています。経済力を強化した中国やインドなどの台頭、依然として続く国家間紛争、世界的な経済不況等々、国内においても長期低迷の経済状況の中で、昨年発足した民主党政権に対する大きな期待感が、諸々の外交問題、経済対策、さらに、国民の目からみると天下り問題や中途半端に終った事業仕分けなどで既に失望感に変わり、今は理解しづらい政界再編の動きもあって政治に対する不信感が増しているのが現状であると思います。

道内経済も全く明るさの見えない中、私共中小企業はこの大変な時代を生き延びるために必死の努力をしていますが、今年もまた皆様方とともにがんばって行かなければと気持ちを新たにしています。結びになりますが、この新しい年が組合員企業にとって新たな飛躍の年になりますこと、また皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。　　（中村運送㈱　代表取締役会長）

～　平成２３年 年頭挨拶　～

安全衛生協力会
会長　小 泉 一 成

新年明けましておめでとうございます。

昨年の一年間も会員企業の皆様に於かれましても労働災害もなく無事一年を終えることができましたこと感謝申し上げます。

今年の全国安全週間スローガンは「みんなで進めようリスクアセスメント　めざそう職場の安全・安心」でした。

リスクアセスメントは職場内における危険を事前評価し、その評価に応じて危険の事前対策を講じていくことであり、内容的には危険予知と同じことを言っています。人は経験を積むことによって危険予知を体得していくのではないでしょうか。そして技術的な面での経験は熟練

の技となり磨きがかかっていきます。また、仕事の工程のプロセスを熟知してきますから、何処に問題が発生しやすいか、危険がはらんでいるかを容易につかむことができるようになってきます。

事前に把握できるからこそ事故を未然に防ぐこともできるようになります。これを体系的にまとめていくのがリスクアセスメントの全体像ではないかと思います。危険を予知し、考察を加え、判断し行動していく、このことを職場内の一人一人が出来るようになって始めて職場の安全・安心が実現していくと思うのであります。

昨年秋に中国の上海で高層アパートの火災があり多くの方が亡くなり、その中には日本人の方もおられました。大変痛ましいことであります。中国の労働安全当局責任者は、ずさんな工事と管理体制に問題があったと発表しております。内容に関して詳しくは分かりませんので細かい話はできませんが、ここにリスクアセスメントを適用していったならば事故は起きなかったし、仮に起きたとしても多くの方が亡くなることはなかったのだろうと思います。

経済成長著しい中国だから、仕事がありすぎて突貫工事のごとく進んでいてこのようなことが起きたと言えるのかもしれません。日本ではこんなことは無いよと思われる方も多くいると思います。私もそう考える一人であります。しかし、昨年３月に札幌市北区内において、グループホームの火災があり７名の方が亡くなりました。原因は１階食堂のストーブ付近からの出火で、火災当時、ストーブの周りに洗濯物が干されてあったといいますし、常態化していたとの報道もありました。「安全・安心」は日頃の仕事に対する姿勢、考え方、取り組み方によって得られるものであります。たとえ事故が起きたとしても最小限に食い止められることにもなります。最小限に食い止められることは、明日を切り開いていくことにつながります。

今年の一年も会員の皆様と共に、「安全・安心」を目指していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

（小泉建設㈱　代表取締役）

～　新年に当たって　～

発寒地区異業種交流プラザ
代表幹事　　犬飼智之

新年明けましておめでとうございます。

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

発寒地区異業種交流プラザは、現在会員８名で活動しております。

活動としましては、「メンバー企業の活力の向上を図るため異業種企業が相互に理解を深めながら、情報及び技術の交流を行うことにより製品開発、加工、組み立て、サービス等における技術革新を促進する」を目的にしておりますが、近年は情報交換、視察研修、講習会、懇親会等の活動が主となっております。

年々会員数が減少傾向にありますが、実りある活動をと考え少しでも役に立つ情報交換ができればと日々努力しております。

人数が増えていくことによって、「三人寄れば文殊の知恵」と言いますようにいろいろな意見が出て、個人、企業、当組合全体が活性化していけると信じております。

組合員の皆様といろいろな知恵を出し合い、この悪い現状を皆様と乗り越えられるようそして、当プラザがその役割を果たせる場に少しでも貢献できればと、このため今年は新会員の加入に一層力を入れたいと考えていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

今年もプラザ会員、そして組合員企業の皆様により良い年でありますようお祈り申し上げます。

（犬飼金属工業㈱　常務取締役）

あとがき

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

（事務局一同）